



みらい通信

各務原市議会
市民派・チームみらい
杉山 元則

事務所: 蘇原緑町 4-15
電話 090-7678-7869
FAX 058-382-3980
Mail: kizuna@true.ocn.ne.jp

「120億円の新総合体育館整備中止を求める請願」が市民から提出されました

【請願項目】

1. 120億円の**新総合体育館・総合運動防災公園整備の中止**
2. **現総合体育館を存続させることを前提に、使いやすく改修**

【請願趣旨】

- ▶各務原市が建設しようとしている新総合体育館は、敷地面積が市民公園と同じ7ヘクタールもあり、床面積は現体育館の2.1倍、最大3000席の観客席、900台の駐車場の計画。防災公園を含む総事業費の120億円は市役所新庁舎の事業費97億円を大きく上回り、維持管理費は毎年1億円以上が必要になる見込み。
- ▶建設予定地は大雨が降ると排水路があふれ、浸水により通学路が危険になる地域。農地を2~3メートル埋め立てて大きな建物を造ればさらに洪水の危険性が高まる。
- ▶一次避難所である全小中学校体育館にエアコンがない。児童生徒の教育環境を充実させるためにもエアコン設置を優先すべき。
- ▶市民の暮らしは、コロナ禍や異常な物価高騰、下水道値上げで困窮が進んでいる。今、市政が取り組むべきは、市民の置かれている苦境の手当て。
- ▶現体育館を使い続けるか、解体するかも決めずに新体育館建設を進めようとしているが、市民の声を聞き考えることが必要。



署名数 **2216名**
にもかかわらず
結果は不採択に

【政和クラブ】体育館建設に**賛成**、請願に**反対**(小島博彦議員)

川嶋一生議員の一般質問とそれに対する浅野市長の答弁そのものです。平成23年に各務原市議会スポーツ振興議員連盟により全会一致で承認された要望書に記載のある、「総合体育館整備 公式のバスケット等のできる競技場」です。要望項目はたった1行ですがスポーツを愛する市民の思いを馳せる時、政和クラブとして新総合体育館事業を議会から支えていく考えにぶれることはありません。現総合体育館を存続させるかどうかという議論に関連付けて議論する性格のものではありません。

【颯清会】体育館建設に**賛成**、請願に**反対**(池戸一成議員)

120億円の体育館建設は維持費込みで年間約3億(60年で180億円)かかる事業です。この町に住む人々の心身の健康を支えるスポーツ振興に値するかを考えると、十分に値すると考えます。

【杉山の意見】体育館建設に**反対**、請願に**賛成** 学校給食無償化、高校生まで医療費無償化、学校の体育館にエアコン設置を行い、子育て支援や少子化対策を優先すべきです。

現総合体育館の取扱いは誰が決めるのか



現総合体育館の取扱いを決めないで、総事業費120億円の**新総合体育館整備事業を進めています**。市は現総合体育館の取扱いを令和5年度中に決定すると明らかにしましたが、委員会メンバーは誰で、どのような手順で検討するのか、議論は公開されるのか質問しました。

【市の答弁】

現在、スポーツ施設の利用者や、スポーツ団体を対象にアンケート調査を行っています。その後、庁内検討委員会で方向性を協議し決定します。検討会メンバーは、企画総務部、教育委員会を中心にした市職員で構成する予定で、議論は公開しません。

【杉山の再質問】

アンケート調査に参加したから、市民が議論に参加したということにはならない。市民が議論をチェックできないし、決定に納得できないことになってしまう。市職員で決めてしまうのは乱暴である。

【市の答弁】

市民の声を聞くためにアンケート調査をしています。その声を尊重して現総合体育館のあり方を決めていきたいと考えている。

川瀬勝秀議長の不信任決議提出

6月23日に行われた経済教育常任委員会で「120億円の**新総合体育館建設の中止を求める請願**」が審議されました。その後傍聴した市民は退室を指示されましたが、審議内容に不服があると退室せず、不満を発言していました。それに対して委員長は繰り返し退場を促し、市職員も同様に冷静な対応をしていました。ところが川瀬勝秀議長が傍聴した市民に向かって「帰れー！」と大声でどなったのです。

冷静に見守るべきなのに、議員として品位にかけるパワハラ発言であると、議長に発言の撤回と謝罪を求めましたが、一切拒否されましたので6月29日に議長不信任決議を提出しました。

【政和クラブ・小島議員】不信任決議に**反対**

傍聴者によって恐怖や圧迫感を感じたので、職員を守ろうとした発言で問題はない。

【颯清会・池戸議員】不信任決議に**反対**

たびたび注意をしていた市民で、不信任決議は大げさである。

【杉山の意見】不信任決議に**賛成**

社会全体からパワハラがなくなるよう、議員は模範となって襟を正す必要があります。パワハラの暴言に対して謝罪もしないで、反省の様子が見られないのは議長としてふさわしくありません。

公式LINE登録
お願いします



ハコモノ建設を次々と進める浅野市政に、正しいブレーキ役になっていきます

新特別支援学校建設で、建設、電気、機械を合わせて約63億円の契約承認の議案が提出され、賛成多数で可決されました。特別支援は障がいあっても、地域の学校で健常者と学ぶ権利を守る必要があります。大きな学校を作り、分けてしまうことはインクルーシブ教育に逆行すると考えます。定員250人の学校建設の事業縮小を求めて反対をしました。

朝、挨拶活動しています

